

【獣医学部 獣医学科】

2025 年 10 月 11 日実施入学試験

(2026(令和 8)年度 獣医学科 卒業生後継者特別入学試験等)

出題の意図

【化学】

化学は様々な物質の構造や性質、変化を原子あるいは分子レベルで理解する科目で、生命科学や獣医学を含めて科学分野全般の基盤となっています。多様な物質の構造・性質・変化（化学反応）の法則性を理解するためには、化学を構成する理論、無機、有機の分野における知識と計算や原理に基づく論理的思考の両方が重要です。本年度の化学の出題では、これらの基礎となる知識、計算力、理解力、論理的思考力を問うことを意図しました。

【生物】

「人と動物と環境の共生」を理解し、獣医学を学ぶためには、生命現象を科学的に捉える基礎的な力が必要である。細胞、遺伝子とその働き、体内環境の維持、生物の多様性と生態系などに関する基本的知識の定着を確認する。あわせて、生命現象を相互に関連付けて理解する力、資料や文章から必要な情報を読み取る力、数量的な情報を正確に扱う力など、獣医学を学ぶうえで土台となる基礎的な能力を測ることを目的とする。基礎的な用語や概念を確実に身に付け、与えられた条件に即して適切に整理し、必要に応じて簡潔に考察・判断できるかを確認することで、入学後の学修に必要な準備状況を把握し、動物・人・環境のつながりを多面的に捉えるための素養を総合的に評価する。

【英語】

外国語・英語の学習とその理解に必要なものは、まず語彙力と統語に関する文法にあると考えています。一方で、将来の獣医師としての科学的思考力と応用能力を育むためにも、言語を通じての論理的思考は必要であり、そのことが人や動物、獣医療を考える上でも円滑な言語活動は必ず伴うものであると考えています。その言語活動における論理の展開や、文そのものの統語的な構造を理解しておくことは重要なことです。語彙力や語法への理解と蓄積は高等学校までに学習していることでもありますが、知識を一層積み重ねていく上でも大学では必要なことであります。これらの意味から、基本的な語彙力、2 者間での言葉のやりとりの場面における正しい言葉のつながり（あるいは論理的展開）、また、まとまりのある科学的な内容の文章への理解を問うことを意図し、出題としました。

【数学】

数学は自然科学の基礎であり、科学技術ばかりでなく社会生活の様々な場面で活用されています。実験結果を客観的に分析し、現象を合理的に表現・予測するためには数理的能力が必要不可欠です。本学を受験しようとする皆さんには、高等学校学習指導要領に基づく基本的な数学の知識と技法の習得に加え、既知の知識を組合せながら筋道立てて解決する力を養ってほしいと考えています。本年度の数学では、基礎知識の理解力と計算の処理能力を問うことを意図しました。